

INTERIM BUSINESS REPORT

第93期 中間報告書

2022.1.1 ▶ 2022.6.30

市光工業株式会社



株主の皆さまへ

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、中国の都市封鎖を受けたサプライチェーンの停滞から製造業の景況感が悪化したほか、円安やウクライナ情勢の影響を受けた資源価格の高騰など、インフレによる景気後退リスクも懸念される状況となりました。一方で、活動制限の緩和で人出が回復、サービス消費が持ち直すなど個人消費に回復の兆しも見られるようになりました。



世界経済においては、米国では製造業や住宅部門は弱含みとなった一方で個人消費は底堅く推移しました。中国では、今春に上海市などで厳しい行動制限を実施した影響から、個人消費が減少、製造業の生産活動も下降しました。アセアンでは、新型コロナウイルスの感染拡大が続くなかで、タイ経済は低迷が続く一方、インドネシアは「ウィズコロナ」政策による内需ならびに一次産品の外需など景気拡大が続いているほか、マレーシアはコロナ禍からの人流の回復や電気・電子製品を中心とした輸出など内外需ともに堅調であり、緩やかな景気回復が継続しました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、中国政府の活動制限強化などを要因としたサプライチェーンへの影響から、日本国内の自動車生産台数は当第2四半期連結累計期間における前年同期比で大幅に減少しました。また、中国の生産台数も前年同期比で減少となりました。一方で、アセアンの自動車生産台数は堅調に推移しており、マレーシアとインドネシアで前年同期比で大幅なプラスとなった影響もあって、3か国合計では、前年同期比で大幅増となりました。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間においては、海外は、新製品立ち上げ効果によりアセアンを中心に自動車生産台数ベースでのマーケットの市場成長率を売上高の増加率が上回りました。しかしながら、主力の日本国内の市場と当社単体の売上高が概ね同水準の減少率となった結果、連結ベースでは売上高は62,935百万円(前年同期比3.8%減)と減収となりました。営業利益は経費削減や生産性の向上はあったものの、売上減少の影響や原材料費やエネルギー価格の高騰などから1,121百万円(前年同期比72.3%減)、経常利益は持分法による投資利益776百万円の計上などもあり1,613百万円(前年同期比65.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,266百万円(前年同期比57.8%減)となりました。

尚、中間配当につきましては、株主の皆さまへの利益還元の向上を図る観点から、2021年6月期の3.5円から1円増配し、4.5円とさせていただきます。

また、2022年12月期通期の業績予想につきましては、引き続き半導体需給のひっ迫や原材料やエネルギー価格の高騰など、予断を許さない状況が続いておりますが、コスト削減の徹底など経営改善の努力を継続し、売上高は、1,344億円、営業利益は、58億円、経常利益は、69億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、51億円とさせていただきます。

尚、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 Christophe Vilatte(ヴィラット クリストフ)

ICHIKOH プライム市場を選択

東京証券取引所の市場区分の再編にて



東京証券取引所はこれまで市場区分を「東証一部」、「東証二部」、「マザーズ」等としていましたが、2022年4月4日から「プライム市場」、「スタンダード市場」、「グロース市場」の3つの市場区分に再編成しました。（3市場とは別に特定投資家などへ向けて「TOKYO PRO Market」も開設されています。）

ICHIKOHは従来から最上位の「東証一部」に上場しており、市場再編後も同様に最上位の「プライム市場」を選択しました。プライム市場の選択は、株価、企業ブランドイメージの向上、人材採用、従業員のモチベーションへの好影響、対外的な信用度への寄与などのプラス要素が大きいことなどを勘案し2021年12月の取締役会で決議しました。プライム市場への上場を企業価値を最大限に高めることに結びつけてまいります。

ICHIKOHはプライム市場の選択にあたり、「新市場区分の上場維持適格に向けた計画書」を2021年12月に東京証券取引所へ提出し、「流通株式比率35%以上確保」・「ガバナンス体制の整備」・「サステナビリティなどへの取組」の3つの分野を3年間で改善する計画を策定しました。

ICHIKOHは計画書に盛り込まれている強固なコーポレートガバナンス体制のもとで、CO2削減やダイバーシティの尊重、従業員の育成などのサステナビリティ目標に向けて行動し、企業活動における全てのステークホルダーだけでなく、地球環境、地域社会にも優しい持続可能な企業グループを目指してまいります。

[各市場の特徴]

プライム	時価総額（流動性）規模大・質の高いガバナンス水準
スタンダード	一定の時価総額（流動性）・基本的なガバナンス水準
グロース	高い成長可能性のための計画開示・一定の市場評価・高リスク

(要約) 四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 2022年6月30日現在	前連結会計年度末 2021年12月31日現在
資産の部		
流動資産	55,067	48,160
固定資産	62,201	64,360
有形固定資産	41,124	45,352
無形固定資産	1,046	995
投資その他の資産	20,030	18,013
資産合計	117,269	112,521
負債の部		
流動負債	50,039	49,290
固定負債	13,611	13,827
負債合計	63,650	63,118
純資産の部		
株主資本	53,256	51,389
その他の包括利益累計額	△352	△2,590
非支配株主持分	714	603
純資産合計	53,618	49,402
負債及び純資産合計	117,269	112,521

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

[会計方針の変更]

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計 2022年1月1日から 2022年6月30日まで	前第2四半期累計 2021年1月1日から 2021年6月30日まで
売上高	62,935	65,397
売上原価	52,221	51,360
売上総利益	10,713	14,036
販売費及び一般管理費	9,592	9,985
営業利益	1,121	4,051
営業外収益	882	833
営業外費用	390	208
経常利益	1,613	4,676
特別損失	179	456
税金等調整前四半期純利益	1,434	4,219
法人税等	125	1,182
四半期純利益	1,309	3,036
非支配株主に帰属する四半期純利益	42	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,266	2,999

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計 2022年1月1日から 2022年6月30日まで	前第2四半期累計 2021年1月1日から 2021年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,529	5,617
投資活動によるキャッシュ・フロー(△は減少)	184	△4,238
財務活動によるキャッシュ・フロー(△は減少)	△2,876	△904
現金及び現金同等物に係る換算差額	286	57
現金及び現金同等物の増減額	123	531
現金及び現金同等物の期首残高	5,720	5,426
現金及び現金同等物の四半期期末残高	5,844	5,958

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (2022年6月30日現在)

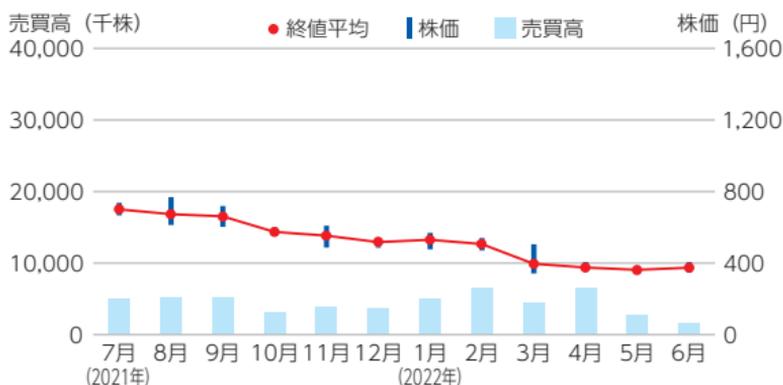
発行済株式の総数	96,292,401株
発行可能株式総数	200,000,000株
株 主 数	6,807名

大株主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
ヴァレオ・バイエン株式会社	58,791 千株	61.16 %
株式会社みずほ銀行	4,775	4.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,576	4.76
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	3,775	3.92
BBH(LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	1,548	1.61
ダイハツ工業株式会社	1,522	1.58
日本生命保険相互会社	1,040	1.08
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG / JASDEC/ ABERDEEN STANDARD SICAV I CLIENT ASSETS	954	0.99
JP MORGAN CHASE BANK 385781	631	0.65
NOMUR INTERNATIONAL PLC A/C JAPAN FLOW	581	0.60

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (176,839株) を控除して計算しています。また、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
 2. 発行済株式の総数の10分の1以上の数を保有する大株主1名を含め、上位10名の株主を記載しています。
 3. 株式会社日本カストディ銀行の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、3,775千株であります。

株価および株式売買高の推移



取締役および監査役 (2022年6月30日現在)

代表取締役会長	オードバディ アリ
代表取締役社長	ヴィラット クリストフ
代表取締役副社長	宮下和之
取締役	中野秀男
取締役	白土秀樹
取締役	マルテネッリ マウリッツオ
取締役	ペレス ラウール
社外取締役	青松英男
社外取締役	ラヴィンニュ ジャンジャック
常勤監査役	加藤伸曜
社外監査役	鶴巻 暁
社外監査役	スベストル ピエール

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から同年12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金配当支払株主確定日	毎年12月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年6月30日
基準日	毎年12月31日 (そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告掲載方法	当社ホームページ http://www.ichikoh.com/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
単元株式数	100株

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

会社概要 (2022年6月30日現在)

商号	市光工業株式会社
設立	1939 (昭和14) 年12月20日
資本金	8,986,364,953円
従業員数	連結 3,478名 (1,432名) 単体 1,802名 (843名)

(注) 従業員数は契約期間に定めのない従業員であり、パートおよび派遣社員など、契約期間に定めのある従業員は () 内に期間中の平均人員を外数で記載しています。

本店	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地 TEL 0463(96)1451 FAX 0463(96)2080
----	---

ホームページのご案内	会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。 http://www.ichikoh.com/
------------	--

ICHIKOH

a Valeo company

市光工業株式会社

〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地

TEL.0463-96-1451 FAX.0463-96-2080

URL : <http://www.ichikoh.com/>

UD
FONT

見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。

